

出穂予想第1報。  
平年より2日程度早い予想！



※気象情報(新潟地方気象台 6月27日発表)

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、多い確率50%です。日照時間は、少ない確率50%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、平年並の確率50%です。

1週目	6月29日(土)～7月5日(金)
2週目	7月6日(土)～7月12日(金)

1. 特裁米コシヒカリ生育調査結果(6月28日現在)

田植日(5か所平均): 5月9日

項目	本年値	前年値	前年比
草丈(cm)	42.3	40.1	105.5%
茎数(本/株)	30.7	23.5	130.6%
葉数	8.8	8.7	+0.1葉
SPAD	39.2	38.9	100.7%

2. 出穂予想(6月24日:新発田市農業普及指導センター)

『5月10日頃田植え』

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量 合計 (kg/10a)	穂肥時期		湛水管理 開始時期
				1回目	2回目	
ゆきん子舞	6月30日	7月25日	5~6	6/30~7/2 (-25~-23)	7/8 (-14)	6/30 ~
つきあかり	7月3日	7月26日	5~6	7/1~7/3 (-25~-23)	7/12 (-14)	7/1 ~
あきだわら	7月23日	8月15日	5~6	7/21~7/23 (-25~-23)	8/1 (-14)	7/21 ~
こしいぶき	7月4日	7月27日	2~3	7/4 (-23)	7/13 (-14)	7/2 ~
コシヒカリ	7月13日	8月5日	1~3	7/18~7/21 (-18~-15)	7/26 (-10)	7/11 ~
わたぼうし	7月2日	7月25日	2~3	7/2~7/5 (-23~-20)	7/13~7/15 (-12~-10)	6/30 ~
こがねもち	7月10日	8月2日	1~3	7/15~7/18 (-18~-15)	7/23 (-10)	7/8 ~
五百万石	6月30日	7月23日	1~2	7/3 (-20)	7/11 (-12)	6/28 ~

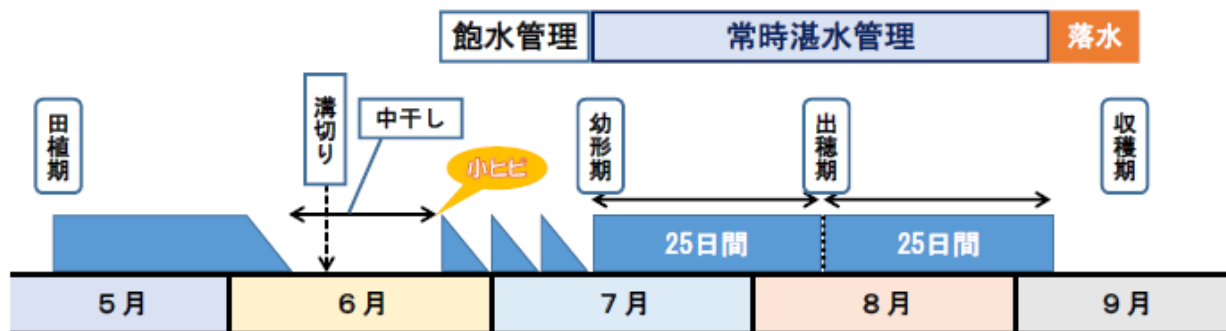
※連休田植えの出穂予想は上記表より2日早い予想となっております。

※出穂予想は今後の気温により変動しますので穂肥作業前に最新の情報を確認しましょう。

※穂肥の施用に当たっては、ほ場ごとの幼穂の状況を確認しましょう。

### 3. 出穂期の水管理

【コシヒカリの水管理イメージ】



カドミウム吸収抑制対策として出穂前後25日間は湛水管理を実施しましょう。但し湛水管理期間中、高温が続く場合は水温上昇による「根腐れ」が心配されます。可能な限り水交換を行い根の健全化に努めましょう。

### 4. 病害虫発生情報 (7月1日：新潟県病害虫防除所)

〈葉いもち〉 量：やや少ない。時期：遅い

- ・いもち病感染好適条件は、例年に比べ頻度が低く時期も遅く、現在北越後管内で いもち病の発生は確認されておりません。但し、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないと予想されていることから感染好適日出現の可能性があります。

〈紋枯れ病〉 量：やや多い。時期：並

- ・前年発生量が平年比やや多く、越冬菌核量は平年比やや多いと推定されます。

〈斑点米カメムシ類〉 量：並。時期：並

- ・県平均では並ですが下越地域6月下旬の畦畔すくい取り調査では、アカヒゲホソミドリカスミカメで「平年比やや高い」、アカスジカスミカメで「平年比やや高い～高い」。

アカヒゲ

アカスジ



地域一斉防除計画に基づき防除を徹底しましょう。

農道・畦畔防除期間：7月6日(土)～7月8日(月)

■殺虫剤散布：MR. ジョーカー粉剤DL 3g/m<sup>2</sup> (3kg/10a)

※各地区防除協議会の一斉防除計画をご確認ください。

**殺虫剤散布後は草刈りを徹底しましょう！**

#### JA北越後からお知らせ

稲作集合研修会を開催致します。

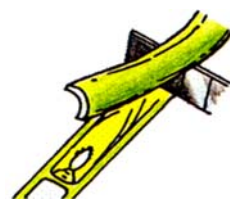
日時：7月19日(金)午後1時30分～

場所：営農センター「二階会議室」

内容①水稻の生育概況と今後の管理(普及センター)

②幼穂確認(JA)

③製品紹介・情報提供(製品メーカー)



コシヒカリの平均的な株を引き抜いて、泥を洗って持参ください。(持ち物 カッターナイフ)